

－はじめに－

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、急激に社会が変化する中で、学校と地域を取り巻く課題はますます複雑化・多様化しています。

そうした状況の中、新学習指導要領の「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という目標を学校と地域が共有し、連携・協働することによってその実現を図っていくことが必要です。

本県におきましては、第3期教育振興基本計画の中で「未来を拓く心豊かでたくましい人づくり」を基本目標に掲げ、「社会全体で支え合い、子どもを育む」という方針のもと、「家庭や地域と学校との連携・協働活動の充実」として、「持続可能な地域学校協働活動」と「コミュニティ・スクールの導入」を推進しているところです。

地域学校協働活動とコミュニティ・スクールそれぞれが持つ役割を十分に機能させ、一体的な推進を図ることで相乗効果を発揮し、地域の教育力の向上と学校運営の改善に結びつけることが期待できます。このため、令和4年度も「学校を核とした地域力強化プラン事業」として「地域学校協働活動」と「コミュニティ・スクール」、さらに「家庭教育支援」の3つを総合的に推進し、県全体での展開を目指してまいりました。

本実践事例集は、地域全体で学びあい支えあう仕組みづくりの推進に資するものとして、各市町の工夫や努力によって取り組まれた実践をまとめたものです。県内の取組を参考に、事業の更なる拡充に取り組んでいただければと存じます。また、今後、学校と地域の連携・協働体制の構築を目指される市町におかれましては、本実践事例集を参考にいただければ幸いです。

最後になりましたが、日頃より地域において本事業をはじめ、「社会全体で子どもの育ちを支える環境づくり」「地域づくり」に献身的に取り組まれている関係者の皆様に心より感謝申し上げますとともに、今後も引き続き御支援のほどお願いいたします。

また、本事例集の編集に際し、貴重な情報提供や寄稿をいただきました皆様に厚くお礼申し上げます。

令和5年（2023年）3月

滋賀県教育委員会事務局生涯学習課